

特別企画

中学校武道必修化への対応 ポスター発表

発表者 柔道 浅野 哲男 (全日本柔道連盟 教育普及委員)
剣道 八坂 和典 (埼玉大学教育学部附属中学校)
空手道 横山 慶一 (大阪ハイテクノロジー専門学校)
弓道 佐藤 明 (東北大学)
相撲 満留 久摩 (東京都立足立新田高等学校)
なぎなた 高橋 聖子 (東京都豊島区立千川中学校)

司会 豊嶋 建広 (麗澤大学)
佐藤 明 (東北大学)
井下 佳織 (国際武道大学)

日時：平成22年9月2日(木)
12:00～13:00
会場：4階ラウンジ(東)

趣旨

日本武道学会では、中学校武道必修化に向けての対応として、第41回大会(平成20年)において講演会を、そして第42回大会(平成21年)では「中学校武道の必修化に向けた課題と対策」をテーマにシンポジウムを開催した。内容については『武道学研究』に掲載されており、目を通せば武道必修化の趣旨と経緯、及び条件整備や指導者研修などの課題が理解できる。伝統や文化に関する教育の充実を図る上で、武道への期待は大きいと言ってよいだろう。

そこで本年度(平成22年)の第43回大会では、昨年のシンポジウムでの議論を推し進めて具体的な指導内容・指導方法に関する研究発表をポスター形式で行うことになった。武道必修化における課題は、いろいろ指摘できるが、最も重要な点は教員の指導力ではないだろうか。武道を専門としない体育教員も、ある程度の実力と自信を備えて授業に臨むことが望ましい。

何を、どのように教えるのか。果たして生徒の目は輝くだろうか。教員には、一つ一つの動作、言葉での説明、適切な指示など、常に工夫と改善を図る姿勢が求められる。

第43回大会特別企画「中学校武道必修化への対応」ポスター発表では、剣道、柔道、相撲、弓道、なぎなた、空手道の各専門分科会から発表がなされ討論が行われる。経験豊富な教員、研究者の発表内容は、私たちに大きな示唆を与えるものと思われる。